

令和3年度第2回いちのせき健康の森運営委員会 会議録

- 1 会議名 令和3年度第2回いちのせき健康の森運営委員会
- 2 開催日時 令和3年11月10日(水) 午後2時から午後3時40分まで
- 3 開催場所 一関文化センター 小ホール
- 4 出席者
運営委員 吉家義博委員長、千葉正副委員長、阿部眞委員、佐藤加奈子委員、菅原清忠委員、千葉春香委員、長山弘美委員、船山賢治委員
事務局 伊藤信子いきがづくり課長、
渡邊博幸いきがづくり課いきがづくり係長、
蜂谷友香いきがづくり課主事、佐藤可安所長、小國友也副所長、
千葉忍総務管理課長、菅原寛研修課長、岩淵和也総務管理課員
- 5 議題
 - (1) 報告
令和3年度上期経過報告について
 - (2) 協議
令和3年度下期運営計画について
 - (3) その他
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴者の数 0人
- 8 挨拶

(1) 伊藤信子いきがづくり課長

今年度のいちのせき健康の森の運営状況ですが、新型コロナウイルス感染症拡大により8月12日に県の緊急事態宣言が発令され、いちのせき健康の森も8月13日から9月16日まで市民限定の利用としました。結果、上半期の施設利用状況は新型コロナウイルス感染症の影響がなかった令和元年度と比較して大きく落ち込んだ状況にあります。昨年度整備したテレワーク室も、前回の運営委員会で委員皆様に様々なご意見をいただき、現在、市の観光担当部署と協議を行い旅行雑誌への掲載を検討しています。さらにスノーランド利用も併せたモデルプランを作成し、今後PR活動を行っていきたいと考えています。

本日の運営委員会では、第1回の会議時にご意見としていただいた内容に関しましても経過報告をします。委員の皆様には、いちのせき健康の森の運

営管理、スキー場の運営・安全管理に関して忌憚のない意見を頂戴したいと思っていますので、宜しくお願いします。

(2) 佐藤可安所長

9月に入り新型コロナウイルス感染症の感染状況が減少傾向となりましたが、4月から8月は全国的に感染が拡大し、いちのせき健康の森もキャンセルが相次ぎました。キャンセル以外では小中学校の宿泊学習の利用日延期もありました。利用日の延期は、10月末や11月と今までに宿泊学習の利用実績の無い時期へと延期をしなければならぬこともあり不安でした。利用した子供たちの声を聞くと沢遊びがしたかったという声がある一方、野外炊飯を2回計画した学校では、1回目がカレー、2回目は豚汁、そして自ら炊いたご飯でおにぎりを初めて作ったとのことで、「2回目の火起こしが1回目よりうまくいった。」、「紅葉の中のウォークラリーが一番楽しかった。」という声を聞くと少し安心しました。

いちのせき健康の森の紅葉も10月25日過ぎにピークを迎え、宿泊学習が延期となった子供たちの活動の中、いつになく彩りも良かったように思います。これからスノーランドオープンの準備を進めるなか、今まで同様、新型コロナウイルス感染症の対策をしっかりと行い安心・安全に利用していただけるよう注意します。そして、来春にはPR訪問活動を活発に行っていきたいと思います。委員の皆様のご意見を頂戴して、今後の運営に活かしますので宜しくお願いします。

(3) 吉家義博委員長

新型コロナウイルス感染症の推移ですが、東京オリンピック・パラリンピック閉会后、急速に感染者数が減少し、落ち着いた傾向が見られます。ただ、この2年間、どの公共施設についても大幅な利用制限があり、施設利用は大幅に低迷し、この状況は当面の間続く見込みです。いちのせき健康の森は子供から高齢者まで利用できる生涯学習施設です。利用促進のため、是非委員の皆様には活発な意見、提言をお願いします。

9 審議内容

(1) 令和3年度上期経過報告について

資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 軽トラックの自損事故について説明をお願いしたい。

事務局 敷地内の草刈りの移動の際、車内に蜂が侵入したためハンドル操作を誤り、自損事故を起こした。

委員 小中学校の活動内容はどのようになっているか。

事務局 岩手県の学校は1泊2日、宮城県の学校は2泊3日のカリキュラムが多い。活動内容は、工作・ウォークラリー・野外炊飯等、学校で出来ない体験型の野外活動を主に行っている。

委員 熊対策はどのように行っているか。

事務局 野外活動時に熊鈴の貸し出しや各学校で使用しているスターターピストルの使用、児童・生徒の多い学校には職員の配置を多くする等の対策を行っている。

委員 祭時山登山は可能か。

事務局 現状、登山道が整備されておらず、経路が険しいので登山は困難である。また、祭時山は国有林であり、整備には営林署の許可が必要となる。

委員 レンタルスキー、スキー靴の交換頻度（メンテナンス）はどうなっているか。

事務局 スキー靴の交換頻度は、個々のスキー靴の破損や劣化状況により交換し、ストックは曲がった時点で交換している。古いスキー板はカービングスキーに徐々に入れ替えており、今年度も更新予定である。

委員 利用団体のレンタルスキーの割合はどうなっているか。

事務局 厳美小学校を例にすると、持っていない人がほとんどなので、レンタル利用の割合は多い。

委員 スキーセットは何セットぐらいあるか。

事務局 おおよそ100セットである。

(2) 令和3年度下期運営計画について

資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 スキー、スノーボードエリアは分けているか。

事務局 ゲレンデが狭いので分けていない。

委員 スキーとスノーボードの接触事故はないか。

事務局 スキーとスノーボードの接触事故の報告はない。

委員 来年度の学校行事の予約があるようだが、スキーの予約はあるか。

事務局 スキーの予約は今のところないが、厳美小学校の体育の授業として、ソリの予約がある。なお、ソリは無料で貸し出している。

事務局 昨シーズン、宮城県の学校でスキー合宿の予約が入っていたが新型コロナウイルス感染症の影響でキャンセルになった。来年度、利用の

可能性があると思われる。

委員 初めてのスキー教室でなく、初めてのスノーボード教室の開催は可能か。

事務局 今後、スキー協会と連携し検討をする。

委員 厳美小学校で行うスキー教室の後に、レンタルスキーの割引日を増やすことができれば子供たちもスキーに慣れ親しむと思う。

事務局 検討する。

委員 防火適合表示「銀」について説明をお願いします。

事務局 昨年、施設の修繕不備により防火基準適合表示が「金」から「銀」に格下げされた。適合表示の有効期間が「金」で3年、「銀」で1年である。今後、防火基準適合表示「銀」を維持し、再度「金」を取得出来るように修繕を行う。

(3) その他

委員 スノーランド利用促進に係るチラシの配付先を教えて欲しい。

事務局 いちのせき健康の森に置く計画だが、市民センター、市内小中学校等協力していただければと思う。冬休み前の配付を検討する。

事務局 よぶのる一関（東日本旅客鉄道株式会社）については、送迎バスの代替案の参考として配布する。

10 担当課 いちのせき健康の森 総務管理課